

ていたことを書いたものですから、本文の序文には実はなっていないのです。ですから、おっしゃる通り、本文には序文に書いた、「唱歌誕生は実は、アジア太平洋海域諸民族の近代歌謡史において一つの奇跡であつた、と言わねはならない。」については全然書いていません。

—ああ、よかつた、やっぱりそうですね。それで、調べさせてもらいました。「奇跡」については、その後お書きになっていませんよね。学会発表では少しなされてるようですが。

ええ、何か機会がなかつたものですから。でも、その間も、ハワイに行ったり、ミクロネシアやサモアにも行ったりして、自分ではこつこつ調べてはいるのですが。

§5 唱歌誕生は奇跡だつた

—そうでしたか、だったら今日はその新鮮なお話を中心にぜひお願いしたいと思います。

そうですね、唱歌の誕生と言いますと明治のはじめ頃の出来事なのですが、普通それを奇跡とまでは考えません。それを私があえて奇跡と呼ぶのは二つの理由からです。一つは唱歌の誕生ではこれまでと違って日本に持ってこられた讚美歌との関係を重要視しているからですね。唱歌は讚美歌から生まれている、と考へていること

24 GREENVILLE. 8s & 7s. Double.

57 Lord as we hear this hosanna.
 1 Atij ne kim lek jin mevin,
 Kwon kwanwan baroon ;
 Kwon jibos kim drohij kotoi,
 Ewe kim jab kwan jolek ;
 Kwon jibos kim
 Yeirw Tuk im kab naj wet.
 2 Insa ne Kwaj jih i kon,
 Ewe Kwon kwanwaj kim jin lei,
 Kwon jibos in tok dri jikwan,
 Ewe ren lehiwaj kimaj,
 Insa naj ber
 In drii then Jias.

58 Stoulor visit thy plantation.
 1 Jias lo A'n jikin kolly,
 Letok nos kim wat jin los ;
 Widi A'n ne naj silerlek
 Ne Kwo jab los jibos ;
 O Insi, Kwon kwanwan ;
 Kwe wet marea in jibos.

59 We come to worship.
 1 Kimij tok bwe kim katoe,
 Kabun son san Anij mol ;
 Ewanbaroon kim katoe,
 Ewe kim jar im ren im al ;
 Jias lek,
 Kwon jibos kim jar im al.

2 Kwon jab ber wat im etokk,
 Bome kim, O Ai Enon ;
 Ewe, ne Kwaj jab lek marea,
 Waji A'n si jasin lo ;
 O Insi, letok marea,
 Kwe wet marea in jibos.

3 O, bwe kimin yakre araij !
 Letok injer ne kim jar ;
 Kwon kwanwan baroonwaj,
 Kimin jama sa let maa ;
 O Insi, Kwon kwanwan,
 Kwe wet marea in jibos.

4 O enon bwe kimin ebokk
 Kim san yakwe Jias Kndet ;
 Ewe enon wet An kwanwan
 Kim An letok yakwe kim ;
 O Insi,
 Kwon kofok baroon.

3 Enon araij lek nek ejir
 Ewe ren ber wat lo pin ;
 Insa Jias a naj bak lo,
 Ewe ren ber na then ;
 Jias jendit,
 Jera ajit marea.

4 Kik kimin kwan enon,
 Kim ber einwet ber then ;
 Insa wakim otajolek
 Ne j kotoik, ber i kon ;
 Kim naj nebar,
 Neber Jias lo lo.

マーシャルの讃美歌集「Buk in al kab tun ko」(1891年)に載っている Greenville (「むすんでひらいて」)の旋律
 出典：Buk in al kab tun ko n o n ro dri ail[n in Marshall [microform](1891) New York: Dri jeje im ko mo ne The Biglow & Main Co., 1891. / Bishop Museum 所蔵

い音楽がキリスト教の音楽からはじまったと考えるのが普通です。

—韓国ではそうなんです。

逆に日本の影響を過小評価しようとする、極端な場合は認めない場合があります。それは心理的なものですね。日本ではキリスト教の影響を認めたくない心理的なものがあるのと同じです。でも肝心なのはそれからです。総人口に占める割合から見れば日本ではキリスト教伝道は失敗したと一応結論つけていいでしょう。

それにも関わらず唱歌を含めた音楽はなぜキリスト教の影響を強く受けているのか、受けることになったのか、ここに問題の核心があると思いませんか。まさにミステリーです。

—で、先生はそのミステリーを解こうと。はい、そうなんです。話を唱歌誕生の



ミクロネシアの地図

出典：『キリスト教伝道百科事典 全2巻』(復刻版) The Encyclopaedia of Missions, Tokyo: Edition Synapse, 2002

奇跡に戻しますと、そう考える第二の理由は第一の理由に関係します。それは、当時、讃美歌は日本にだけ来たのではなくて、近い所では隣の韓国とか、あるいは中国とか、さらにもっと広く太平洋全域ですね、ハワイの島もその一つですが、後、ポリネシアという地域がありますが、トンガとかサモアとかタヒチとかそういった島々がある地域ですが、いわゆる南太平洋ですね、そこにも讃美歌がやってきた。そしてミクロネシア、日本から言いますと東京辺りからずつと南下してゆくと、サイパン、グアム、そこからさらに南東に南下したところにミクロネシアの島々が広がっていますが、そこにも讃美歌がたくさん持ち込まれて普及しました。

このように普及していった地域、時期



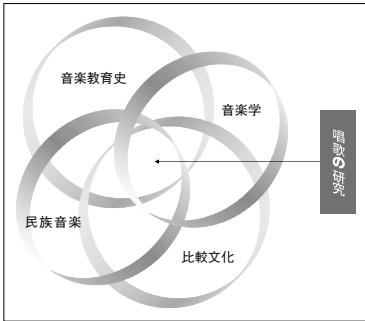
ポリネシアの地図

出典：『キリスト教伝道百科事典 全2巻』（復刻版）The Encyclopaedia of Missions, Tokyo : Edition Synapse, 2002

的には十八世紀後半から十九世紀ですが、讃美歌が普及した地域で讃美歌から自分たち独自の歌、日本の場合で言えばそれが唱歌ですが、そういった歌を作り出した国とか地域は、私の見る限り日本以外にないですね。

ということは、讃美歌の影響から唱歌のようなある種独特の新しい歌を作り上げたというのは、アジア太平洋地域全体の讃美歌の影響とその後の歴史を眺めた時、奇跡だったとしか私には見えないわけです。ですから数年前から私は日本の唱歌の誕生は奇跡だった、と少しセンチシヨナルな言い方ですが、そういう言い方をしています。

——としますと、こう言っているのですか。先生は先ほど、「すると彼らは新しい歌を歌った」と宣教師が言ったとおつ



しゃいました。この言葉を使いますと、日本以外のアジア太平洋のどの地域でも彼らが歌った新しい歌というのは讃美歌のことだったけれど、日本人が歌った新しい歌には、讃美歌の他にも唱歌があった。

上手いこと言いますね。そうなんです。それくらい讃美歌のインパクトは強烈だったようです。もう讃美歌しか歌わなくなったと言ってもいいくらいじゃないでしょうか。

§6 インターデイシプリン

——ここまでお話をお聞きしてちょっと気になってきたことがあるのですが。先生が今なさっている研究は分野で言いますと何になるのでしょうか。音楽史のようですが、それとも少し違うような気がしますし、音楽教育史の範囲からみ出してしまうようですが。

そうですね、音楽史と言えば日本ではまず西洋音楽史ですね。それから日本の音楽史とか東洋音楽史はありますが、でも私が今研究している太平洋の讃美歌の歴史研究というのは、まだ存在していません。それにこれまでの音楽史では扱いませんしね。この地域の音楽を対象に研究しているのは民族音楽研究ですね。それについて面白い話があります。

実は昭和九年に、ミクロネシアの民族音楽を調査した学者がいました。彼がミク